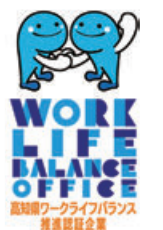




発行所
安芸郡芸西村
芸西病院
TEL 0887(33)3833

発行責任者
岩村 久
<http://okura-kai.com/geisei/>



新任のあいさつ

精神科医師

清水敏幸



皆様、はじめまして。7月1日より勤務をしている清水敏幸です。6月まで勤務されていた西本先生の後任として関西医科大学より赴任しました。私は、高知県に引越してくるまで大阪府枚方市に住んでいました。枚方市は、京都市と大阪市の中間にある人口約40万人を擁している中核市です。ちなみにT-SUTAYA及び蔦屋書店の創業地でもあります。

また、現存する日本最古の遊園地「ひらかたパーク」があるので、是非いつかお越しください。さて、枚方市から

来たので、私の事は「ひらぱー兄さん」と思ってくださいと言いたいのですが医局で確認したところ誰もひらぱー兄さんを知りませんでした。皆様も分からなければ、ググってみてください。よろしくお願ひします。

では、ここからは新任の挨拶をさせて頂きます。何を書いたらいいか悩んだ結果、高知県への勤務が判明した時から私の気持ちの変化をお伝えすることにします。

昨年11月上旬、夕刻に医局長に呼び出され「来年から高知県の芸西病院に勤務をお願いします」と伝えられました。その時は、とても遠い所へ行くことになってしまつ、夜まで臨床の悩みなどを話し合っていた同期との時間が無くな

つてしまつと、正直悲しさと寂しさが中心でした。そのため、その日は近所のよく行く居酒屋で閉店時間を過ぎて常連のお客さんにぼやいていました(笑)。その後、これまで赴任されていた先生方から芸西病院や高知県の良さを沢山教えていただき、徐々に悲しさと寂しさが楽しさに変化していきました。しかし、異動する7月が近づくにつれて友人と食事に行く機会もコロナで中止、再度悲しさと寂しさがこみ上げてきました。そのままの気持ちで7月から勤務開始となりましたが、医局の先生方や看護師さんをはじめスタッフの方々に温かく迎えて頂き、大阪にいた時とかわらず楽しく、真面目に仕事に取り組んでいます。

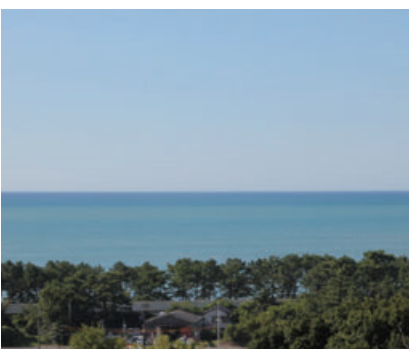
出勤後の朝の楽しみは、医

局から海を見ることです。今は、芸西病院に赴任されていた先生方が「また芸西病院で勤務したい」と仰っていた気持ちだけを2ヶ月で感じる事ができています。悲しさと寂しさ↓楽しさ↓悲しさと寂しさ↓楽しさ、という経過で気持ちは変化しましたが、今後はこのまま継続すると思ひます。

プライベートでは水族館巡りや土佐偉人銅像巡りなどをして楽しく過ごせていましたが、新型コロナウイルス感染者が増加してきたことで一旦中断しています。早く落ち着き、また観光を再開できたらと思います。

この1年仕事とプライベートの両方を充実した時間にしていきたくと思っています。また昨年から体重が10kgも増えてしまったのでダイエットも頑張りたいと思います。

赴任期間中ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと存じます。今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。



外来診察担当医

令和3年7月1日

内科	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
山崎(第1)	岩崎(第3)	山崎	八木	清藤(第1・3)	山崎	八木	大西(第1)	山崎	山崎	麻生	休診	
	八木(第2・4・5)			八木(第2・4・5)			八木(第2~5)					
大崎		岩村	岩村	藤戸良輔	大崎	廣瀬	清水				休診	
											(第1) 廣瀬 (第2) 村上 (第3) 廣瀬 (第4) 高橋 (第5) 交代制	

芸西病院



みずき芸術祭を終えて

精神科作業療法室

作業療法士

石丸 真由美



5月はみずき祭の季節。本来であれば賑やかで活気にあふれたイベントが行われているはずなのに、新型コロナウイルスの影響を受けて様々なイベントが中止となり、みずき祭も二年連続で開催できない状況となっています。

我慢の生活が長期化し、寄り添い集うことを避けなければならぬ現状の中で、作品を通して人と人が繋がって今の生活の希望の光となることを願い、6月29日30日の2日間、当法人ではみずき芸術祭を開催しました。

4月より有志で結成された実行委員会で作品募集を開始すると沢山の部署・個人の方々から出展を頂きました。当初の予想を大幅に上回る51作品が集まり、当日は140名の来場がありました。会場となった如月ホールはさながら小さな美術館のようで、手作りの設営と沢山の色とりどりの作品によって、どこか懐かしいあたたかい空間と

なりました。

今回の芸術祭では、各賞と共に来場された方の投票で決定するギャラリ―賞が設けられました。来場された方は投票用紙を片手にじっくり一つ一つ鑑賞し選ばれており、作品を観て感じたことをご自分の言葉で記入し投票されました。その投票用紙のメッセージは後日製作された方々の所に届いています。

私は、作業療法士として作品制作の段階から対象者の方々と共に取り組み、また実行委員の一人として芸術祭の運営に参加してきました。その中で、来場された方が思いの詰まった作品を前に、想像を膨らませ感じた思いを、自分の言葉で表現される場面や、顔馴染みの方の作品を見つけ出来栄えに



感心し、その思いを伝え合う場面など、形や方法は様々ですが、相手を大切に思いやる様子にやはり人と人の繋がりがこそが暮らしを豊かにしていくことを感じました。また審査結果に関係なく「自分らしくありたい」と地道に作品制作を続けてこられた方が、ご自分の作品が大切に展示され多くの方に観てもらえたことを誇らしく感じ「コソコソとやってきてよかった」と笑みを浮かべることもあり、対人援助職として表現の場を提供しその取り組みの過程に寄り添いその人らしさを支援していくことの大切さを再確認しました。

来年もこの芸術祭を継続していきたいと考えています。皆さんもぜひ、出展してみませんか？



院長賞

評：細かな作業に感心しました。



「フラワーガーデン」
訪問看護 マーサさん

理事長賞&ギャラリー賞1位

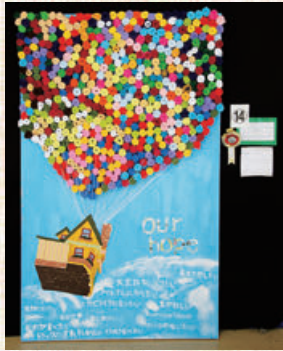
評：素材・構成・色使い全てが素晴らしい。元気と笑顔をもらいました。



「ようこそスマイルタウンへ」
精神デイケア

施設長賞&ギャラリー賞2位

評：創作に取り組まれた方々の多様な願いや希望が表現された「夢」のある作品だと思いました。



「私たちの希望」
OTクラフトチーム

副院長賞

評：小さな折り鶴の集合、1日でも早い終息への想いが伝わってくる作品でした。



「疫病（コロナ）退散」
A病棟

ギャラリー賞3位

評：コロナ禍で外出の出来ない生活から早く脱したいという思いが、空を仰ぎ飛び立とうとする無数の折り鶴に込められています。明るい希望を持つとさせてくれる作品です。



「希望の木」
3B病棟

看護部長賞

評：この作品は社会派の作品です。皆様もご存じのプラスチックゴミ廃棄による環境汚染をテーマに作成した現代アートだと思えます。
(下へ続く)



「人間のしたこと」
精神デイケア



◀になる時に皆でこの環境問題について話し合い「クジラや海の鳥等、様々な海洋生物が人間の廃棄するプラスチックゴミにより健康被害を受けていること」ひいては「地球上にいる生き物すべてが何らかの健康への悪影響を受ける大きな社会問題であること」等を学び、この作品作成に繋がったそうです。
作品制作に至るまでのプロセスに、精神デイケアの良さを強く感じました。今後も様々な社会の出来事に関心を持って、デイケアの仲間と社会性を高めてください。

令和三年度 永年勤続表彰者20名!

去る7月21日に行われた永年勤続表彰式では、勤続40年2名、30年1名、20年6名、10年11名、合計20名の皆さんが表彰されました。そんな受賞者が長い勤務の間に大切にしてきたことや今思うことを言葉にして頂きました。



30
医事課
新谷 めぐみ



芸西病院の皆様のおかげで、院の皆さんと一緒になりながら、与えられた仕事をこなしていたら30年も経っていました。コロナ禍で気が休まりませんが、患者さんと一緒に乗り越えていきます。

20
栄養科
調理師
西岡 真美



これも、美味い給食を作りたと思います。

20
経理課
小川 雅代



過ぎてみれば長い様でありますが、間違った

が、入社以来上司を始め沢山の方々から多くの事を教わる事ができた20年でした。これからも人との絆を大切に頑張っていきたいと思えます。

20
グループホーム
介護福祉士
西田 裕



沢山の方々に支えられ、20年を迎えることが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

20
A病棟
看護主任
看護師
野崎 晶子



子育てをしながら20年勤続できたのは、皆



様のご理解やサポートのおかげだと心から感謝しています。様々な部署で教えて頂いた事や経験をこれから看護に活かせるように励んでいきます。ありがとうございました。

20
2B病棟
看護助手
秋澤 政章



20年間よく頑張ったと思う、色々な意味で。今まで大事にしてきたことは…多少の無理はあまり考えないことです。

10
医事課
古井 多恵



入社して10年間、沢山の職員・家族に支えられ、今日まで勤めることが出来ました。ありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。



10
医事課
笠井 あや



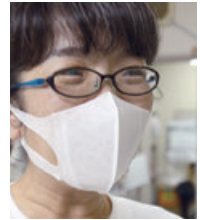
入職した時、各部署で「ありがとう」をよく耳にし、この病院はすごくあったかいと感じて以来、笑顔と感謝を忘れないようにしています。皆様方に感謝しつつ、あったかい気持ちを伝えられる対応ができるようこれからも努力していきます。

10
2B病棟
介護福祉士
入交 豊



気がついたら10年経っていました。利用者や患者さんと接する時は丁寧な言葉遣いをする事を大事にしてきました。やわらぎ、病院と勤務してきましたが、皆が良い上司、同僚であり感謝しています。





右も左もわからずに入職して10年。スタッフ、

患者さんとの出会いも別れも沢山あった10年でした。関わってくれた(今現在も関わってくれている)皆さん、本当にありがとうございます。



やわらぎでの実習の際、利用者さん「ア

ンタここへ来んかね」と誘われ入職して以来、利用者さんや患者さんの笑顔や職員の皆様の励ましのおかげでここまで勤めることが出来ました。皆様に感謝しています。



本当にあつという間の10年でした。入職して

2年も経たずに別の部署へ異動、また異動を繰り返して、色んな人との出会いがあり学びの多い歳月であったと思います。次はどこへ?これからは楽しみです。



介護の「か」の字も全く解らない私を受け入れて頂き、優しく思いやりのある上司や同僚に恵まれ、あつという間に過ぎた10年です。私事で色々大変なこともありましたが皆さんの温かい心に励まされてきました。表彰の場で、10年前一緒に芸西の夏まつりで「よさこい」を踊った方も沢山いて、嬉しく懐かし

く、本当に良い職場だと実感しました。ありがとうございます。ありがとうございます。



ていた矢先、ある朝、あつたはずのかぼちゃは無くなつており、みんなショックを隠しき

皆さんの家庭菜園をしたことがありませんか。私は昨年から孫たちと一緒に家庭菜園を始めました。今年は新たにかぼちゃやスイカを加えた八種類の野菜に挑戦しました。

野菜たちの成長具合はというと、昨年は大豊作だったトマトは早々に全滅…。続けて大葉と枝豆も収穫に至りませんでした。残念。しかし、オクラときゅうりは、孫が収穫するのが日課になるほどたくさん実りました。また、難しいと思っていたかぼちゃとスイカは、つるがどんどん伸びて花も咲いたので、(収穫できるかも!)と思うと笑みがこぼれました。毎日少しずつ、大きくなるかぼちゃ。(そろそろ収穫かな?)と思つ

れませんでした。スイカは日に日に大きくなり、食べるのが待ち遠しくなりました。試しに収穫してワクワクしながら切ってみると、中は真っ白。やっちゃいました。収穫が早かったみたいです。母にもまだだと言われていたのだけれど、いよいよすぐ捨てました。調べてみると、『スイカの巻きひげが濃褐色になると収穫時期』と書いてありました。二週間ぐらい気をつけ観察し、再度収穫。ドキドキしながら切ってみると(中が赤い!)、やったー!



とみんな喜びました。味も甘く、みずみずしくおいしかったです。その後も四つ程収穫しましたが、あとになればなるほど甘くておいしいスイカに感動しました。

我が家の庭にはもう一つ、樹齢四十年以上経つサクランボの木があります。今年は表年なのか沢山赤い実をつけてくれました。家庭菜園もサクランボも、家族と楽しみながら育てるっていいなあと感じたことでした。

やわらぎ通信

リゾートビルやわらぎ
運営理念

その人らしさを尊重し
人と人のつながりを大切に
明日につなげるケアをめざす

「芋が食べたい!!」

介護福祉士 椋本光志

新型コロナウイルスの影響で、マスクを手放せなくなり外出も躊躇しなければならぬなどという、我慢我慢の日々が続いています。当施設でも月々の各種行事を縮小して行っていますが、毎年の恒例行事であるミカン狩りには行けずじまいです。やはり、屋内で出来ることには限りがあります。

『日々の生活の中で楽しめるものはないか』ずっと考えていたある日、何気なく昼食を配膳していると「私の芋は小さいねー。」と笑う声が聞こえてきました。「もっと芋が食べたい!!」「!!」「よし、畑をつくろうー!」と思い立ちました。

施設長から花壇を畑にする許可をもらい、アスファルトのように固く石だらけの土を耕して、土と肥料を混ぜ畝を作りました。ご利用者の方々にも耕してもらったり、応援していただいたりして、不格好で小さくはありますが畑が完成しました。現在畑では、



芋の蔓も雑草も青々としています。天気の良い日には、散歩がてらに畑を見て「草引かないかなー」と笑い合いながら、日々のサツマイモの成長と収穫を楽しみにしています。



8月 誕生日会

音楽に合わせて
ミュージックケア♪



冷たいかき氷で、
暑さもぶっとびます。



芸術祭作品作り

法人内芸術祭に参加し入賞しました



作品完成!



藤戸理事長より表彰状をいただきました



釣りクラブ

介護福祉士 吉本 孝夫

予定していた日が天候不良等で二度も延期となり、三度目の正直となった7月30日(金)、ついに念願の釣りに出かけることとなりました。参加された2名のご利用者も職員も釣り場である手結の港に到着すると、はやる気持ちを抑えきれず、素早くライフジャケットを着用し釣竿を構えました。

ご利用者は、竿を海中に垂らすと真剣な表情で「浮き」の動きに集中し、竿を上下に動かしていました。時折ボラや小魚が「回遊」してきますが、なかなか針にはかかりません。必死の思いで海面を覗き込んでみると、「そんなに見よったらボラと目が合って、警戒してしま

う。」との声もあがり、その声につられて、大爆笑もおきました。施設に帰る時間が近づき、ついに最後の一投となりました。すると「浮き」に動きが：見事に「二ロギ」を一匹釣り上げました。「釣れた！」「やったね！」など、一同大興奮の中、今年最初の釣りクラブを終えることができました。



ご寄贈ありがとうございました



小山嘉信様「書」

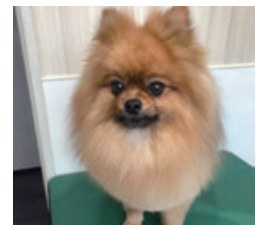
岡村泰作様「擬餌」



無我夢中

34

介護福祉士 関川 望



我が家には3歳になるポメラニアンの子がいます。タヌキに似ていることから、「ポン太」と名付けました。家族として迎えた時は、小さな子犬でしたが、今では4kgを超えるがっしり犬になりました。ポン太は、すごく人懐こい性格で、人に出会うと知らない人でも寄って行って、相手をしてほしいと足元にまとわりつきます。もちろん犬も大好きで、ご近所のポメラニアンと散歩中に出会うといつも仲良く遊んでいます。ただ、猫は苦手のように威嚇されるとすぐに逃げてしまいます。

最近、妹が黒色の毛のポメラニアンを飼い始めました。その子が落ちて着いてきたらポン太と遊ばせたかったのですが、コロナ禍の為、まだ会えずにいます。早くコロナが落ち着いて、元気に遊ぶ2匹が見たいです。

現在のポン太のマイブームは、娘のバレーのお迎えです。私がお迎えの準備を始めると、足元にじゃれつき、「僕も連れて行って」と目で訴えてきます。車に乗ると娘が戻ってくるまで助手席で待っています。その姿がとてもかわいいです。甘え上手になってきたポン太に無我夢中の毎日です。



ガラス越し面会ご案内

<お申込み受付時間>

- ・面会ご希望日の前日
午前10時より午後4時の間

<面会時間>

概ね10分

限られたお時間となりますが
お気軽にお申込み下さい。



ガラス越しでも会話できます。



携帯ホンです